



Web サイト

## 和音の形を覚えれば、譜読みはバッチリです！

**和音**は、音符を数えて読むのではなく、形を見て瞬時に判断できるようにします。

**音階**は音が階段を一段ずつ昇るイメージでしたが、和音はこの習慣で読まないようにします。← (とても大事 😊)

和音を読むとき、「どれみふあそら、」というように読まずに、形を見て瞬時に読み取ります。

音符は線上か間に書くのでパターンは少なく、図形として覚えやすいので、和音は形で覚えます。

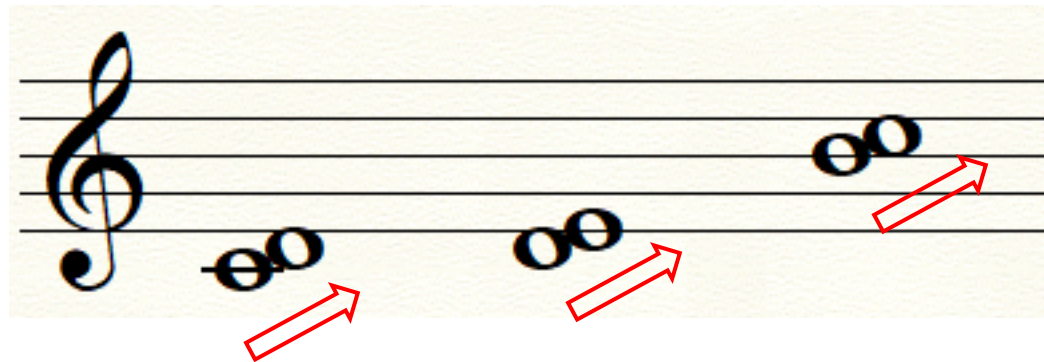
### ① となりの音 (2度)

**和音**は、同時に複数の音を弾きます。

音階の隣の音を二つ選んで同時に弾くとき、五線に示すと右のように二つの音が斜め横に並びます。

隣の音は縦に並べられませんね。

斜め横に並んだ時は**隣の音**です。



## ② 一つ飛ばしの音（3度の積み重ね）

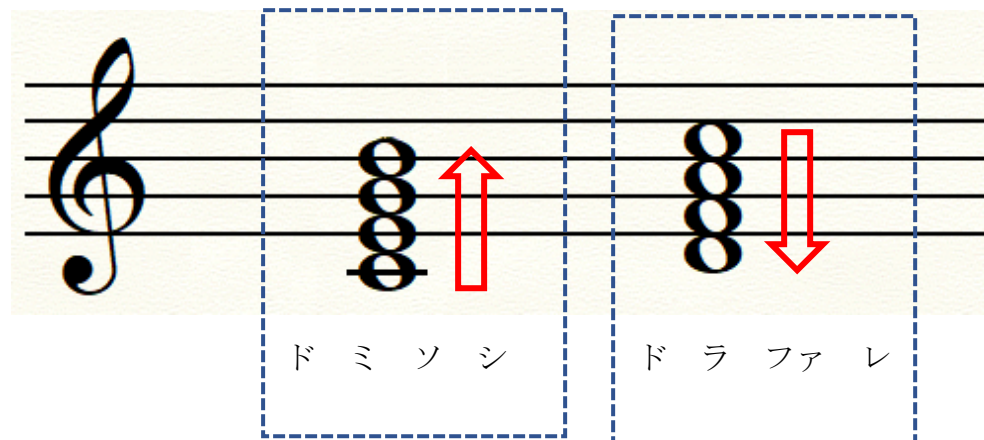
音が階段を一つ飛ばしで昇ったり降ったりする時は、右のように縦にピッタリ並びます。

右は、昇る（音が高くなる）例として、

「ど み そ し」（ド ミ ソ シ）、

降りる（音が低くなる）例として、

「ど ら ふ あ れ」（ド ラ ファ レ）を示します。



線の上の音符は線の上に、間の音符は間にピッタリ並んでいますね。

縦にピッタリ並んだ音は一つ飛ばしと覚えて下さい。

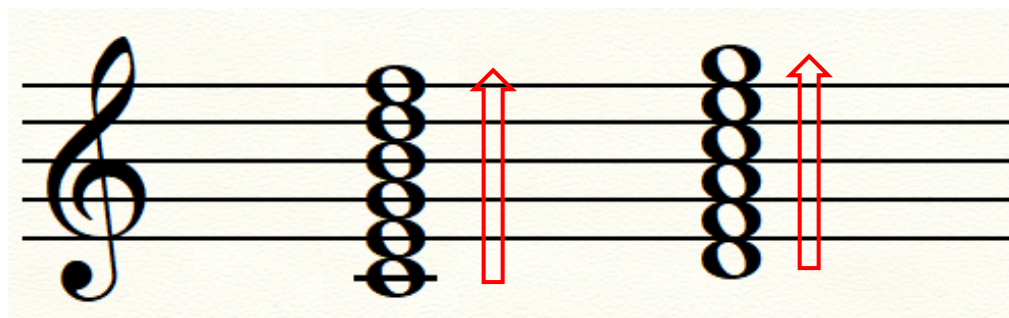
これを3度と数えます。（下の音を1として数えます）

一つ飛ばしの時の音符の読み方は、丸暗記が良い方法です。

「ドミソシレファラド」を丸暗記すれば、どこの音からでも一段飛ばしの読み方ができます。

これで、どの音からでも下の音から上の音へ一つ飛ばしで速く読めます。

十分に速く読めるまで、毎日「ドミソシレファラド、、、」を唱えましょう。



次のトレーニング①～③にチャレンジします ！

トレーニング①：「ドミソシレファラド」を早口で言えるようにします。（1秒以内で！）

トレーニング②：「ドミソシレファラ」連続で繰り返して早口で言えるようにします。

「ドミソシレファラ ドミソシレファラ ドミソシレファラ ドミソシレファラ ド、、、」

トレーニング③：途中から連続で繰り返して早口で言えるようにします。

「ミソシレファラド ミソシレファラド ミソシレファラド ミソシレファラド ミ、、、」

「ソシレファラドミ ソシレファラドミ ソシレファラドミ ソシレファラドミ ソ、、、」

「シレファラドミソ シレファラドミソ シレファラドミソ シレファラドミソ シ、、、」

「レファラドミソシ レファラドミソシ レファラドミソシ レファラドミソシ レ、、、」

「ファラドミソシレ ファラドミソシレ ファラドミソシレ ファラドミソシレ ファ、、、」

「ラドミソシレファ ラドミソシレファ ラドミソシレファ ラドミソシレファ ラ、、、」

### ③ 5度を形で覚える

右の「ド ソ」「レ ラ」「ミ シ」は

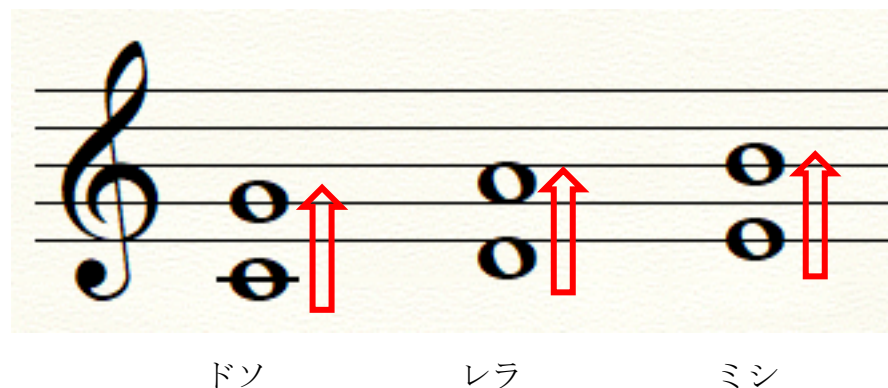
5度と数えます。（下の音を1として数えます）

5度の場合、線の上の音、または間の音になります。

3度の一つ飛ばしで覚えた「ドミソ」の真ん中の「ミ」

を抜いたものですね。

2つの音の間に1音ピッタリと入れば5度です。



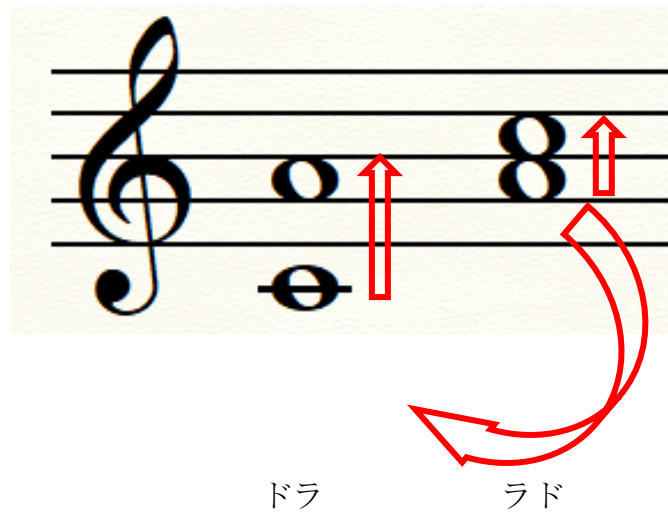
④ 4度を形で覚える

右の「ドファ」「レソ」「ミラ」は  
4度と数えます。(下の音を1として数えます)  
線の上の音と間の音になります。  
2つの音の間に1音入るスペースがなければ4度です。



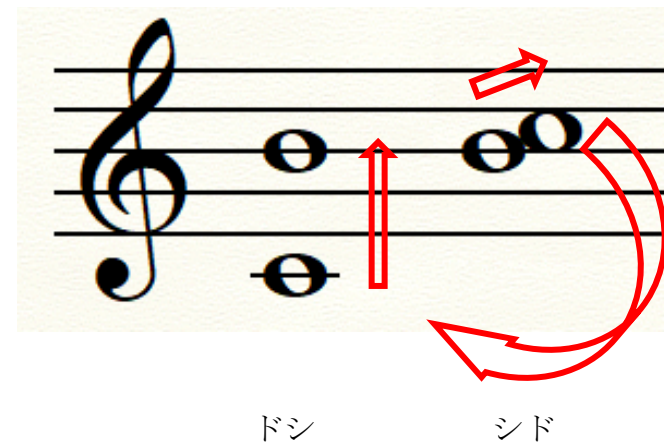
⑤ 6度と3度の関係を覚える

下の「ドラ」(6度)を入れ替えると  
「ラド」(3度)になります。



⑥ 7度と2度の関係を覚える

下の「ドシ」(7度)を入れ替えると  
「シド」(2度)になります。



離れた音はすぐ入れ替えてみましょう。